

思いは今風に乘って



現場の全体調整役
上田 利明さん

「ゆうすげの丘」は何度も設計変更した結果、九州の4分の1が望めるように完成しました。秋や春の景色はお勧めします。まずは見て、良さを知って、利用してもらうことが大事です。



吉無田に人を呼び込みたい思いが人と一致して「ゆうすげの丘」ができました。動かないと何も変わりませんから。自分にできることをやっただけ。一人だったら何もできませんでした。



現場で重機操縦担当
竹内 昭剛さん



自分にできることは昼食を運んで腹いっぱい食べてもらうこと。吉無田は観光資源であり私たちの財産です。子や孫に価値ある財産として残せるように、みんなで育てていかないとはいけません。



現場に無償で弁当配達
福味 総一郎さん

吉無田高原山頂に天空の舞台と呼ばれる「ゆうすげの丘」がある。平成21年秋、町民たちが自らの手で造りあげた円形の舞台だ。直径20メートルの舞台をはじめ、約1千人収容の観覧席、駐車場約70台を整備した。山頂は元々、草原の小高い丘で利用されていなかった。転機が訪れたのは平成20年秋、町商工会（当時藤原英一会長）が試みた音楽イベントだった。有明海を一望できる情景は反響を呼び、関係者や地域住民から常設舞台を望む声が上がった。

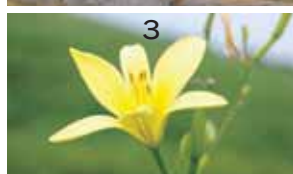
「吉無田の絶景を生かしたい」。舞台建設に立ちあがったのは、竹内昭剛さん（上野）、本田勝敏さん（同）、上田利明さん（滝川）の三人。町商工会（福味総一郎会長）を通して、町に舞台整備の相談をもちかけた。整備費用を自ら負担することを条件に。ほどなくして許可が下りた。平成21年10月、本格的な舞台工事に着工する。背丈ほどもある草を刈り、起伏に飛んだ草原を重機で掘り起した。設計や石材約40トンを提供する支援者も現れ、舞台造りに追い風が吹いた。地域住民も加わり、現場へ足を運んだ。約1カ月間、自らの仕事を持つ傍らで舞台は完成したのだった。

平成21年11月、「ゆうすげの丘」記念式典が開かれた。建設に携わった10人に町は感謝状を贈り、功績を称えた。

吉無田を思う心が共鳴して誕生した「ゆうすげの丘」。その場所言葉はいらない。

思い共鳴した 天空舞台造り

何の変哲も無い小高い丘だった吉無田高原山頂。そこに舞台を造りたいという思いが生まれた。その思いは人の輪となり追い風を生んだ。



1_何も無かった山頂で始まった舞台建設／2_一般町民も参加した舞台の芝張り／3_丘の名称となった高原の夏を彩る花「ゆうすげ」



築いた 幸福の 楽園を



新宅 末廣さん
（田代・81歳）

七福神がシンボルの「やすらぎの丘」。山を切り開き、コツコツと広場造りを続けてきた新宅末廣さん。吉無田高原を訪れる人に幸せの風を運んでいる。

吉無田高原から西原村方面へ向かう途中に、「七福神」と書かれた看板が目飛び込んでくる。これは近くに暮らす新宅末廣さん（田代・81歳）が、私有地を一般客に開放する憩いの手作り広場「やすらぎの丘」だ。草原だった山を切り開き、平成16年4月に開園した。敷地は約6千平方メートルにも及ぶ。

「吉無田の幸せを皆さんにおすそ分けしたいと思って始めました」とにこやかに話す新宅さん。65歳まで約30年間、大工職人だった自慢の腕前を生かして、あずま屋や、かわやを自らの手で造りあげた。緑一色だった広場の下には、シバザクラ、菜の花、コスモスを植えて、四季の彩りを加えた。

新宅さんの好奇心は、とどまることを知らない。県内の行楽施設から高さ約3メートルの七福神を譲りうけ、修復して設置。遠くからでも一目でわかる七福神は、今や広場のシンボルとなっている。

歳月と共に成長する広場は瞬く間に人気を呼び、休日には多くの行楽客が足を運んでいる。カップル、家族、年配

の夫婦など年齢層はさまざま。年に数回訪れるリピーターも少なくない。来る者を飽きさせない最高のロケーションと、サービスピ精神旺盛な新宅さんの人柄が愛されている証だ。週の半分は広場に通う新宅さん。来園者と交流することや、らくがき帳を見ることが一番の楽しみだという。

「若い人と話すと時代の差を感じます。けれど自分の勉強にもなりますよ」とうれしそうに笑顔をこぼす。

あずま屋に備えつけのらくがき帳は、訪れた人が自由に記入する日記。来園者のアイディアから生まれたものだ。ノートを開くと、子どもの絵、結婚の報告、新宅さんへの感謝の気持ちと健康で長生きを願う言葉などがつづられていた。幸せの交換日記は、すでに15冊目を数えている。

「吉無田は眺めと空気が最高です。『やすらぎの丘』は遊び心で造ったわが家のようなもの。喜んでもらえることが一番ですよ」と目を細める。

「やすらぎの丘」、それは吉無田の壮大な大地に、新宅さんのおもてなしの心が溶けこんだ幸福の楽園といえる場所だ。



1_「やすらぎの丘」は西原村方面へ向かう途中にある七福神と書かれた看板が目印／2_カメ、鳳凰、恐竜などに剪定されているツゲの木／3_来園者と新宅さんの思いがつづられた「らくがき帳」

誕生

TOWNSMAN

ゆうすげの丘建設に貢献して町から感謝状が贈呈された人（順不同）

梯坂本建設 坂本猛代表、(株)上田建設 上田正夫代表、(株)DAISYOU 本田勝敏代表
竹内産業 竹内昭剛代表、(株)藤木屋 藤木正幸専務、花&香り 赤星孝宏代表
吉無田地域資源環境保全会 吉澤善喜会長、南田代第4区中山間集落 吉澤廣幸代表
南田代長崎中山間集落 増田隆一代表、町商工会 福味総一郎会長